開基120年記念特集
「北緯45度の大地に生きる動物たち」

No.7

撮影・文：冨士元　寿彦氏

「タンチョウ親子の秋」

毎年10月に入ると、刈り取りが終わった下沼地区のデントコーン畑で、タンチョウが頻繁に見られるようになります。夏の間は、人目に触れ難い原野の湿原や沼で暮らしています。それが、秋になると大好きなコーンを食べにやって来るため、身近な場所で優雅な姿が見られるのです。子育てをしていた夫婦も、飛べるようになった子どもを連れ、家族で来るようになります。写真は昨年の紅葉の時期に撮影した親子ですが、今年も無事に育った子を連れた夫婦に出合える日を、心待ちにしているこの頃です。

わが家のエンジェル

羽田 圭佑（けいすけ）くん

（平成30年1月15日生・栄町）
お父さん　啓太さん
お母さん　瑠美子さん

次男の圭佑です。お兄ちゃんといないいないばあするのが好きで、キャッキャッと笑いながら目を輝かせて遊んでいます。笑顔が似合う子でいてね。

山口 柊那乃（ひなの）ちゃん

（平成30年1月4日生・幌延）
お父さん　高弘さん
お母さん　未久里さん

わが家の第一子 柊那乃です。
最近はつかまり立ちができるようになり色々なところに行っては立ち上がって遊んでいます。
元気で明るい子に育ってほしいです。

前田 凰丞（おうすけ）くん

（平成30年1月26日生・問寒別）
お父さん　祐貴さん
お母さん　彩乃さん

人懐こく、いつもニコニコのわが家の第一子 凰丞です。最近はつかまり立ちもできるようになって、ますます活発に遊んでいます。元気で明るく、思いやりのある子に育ってね。

ほろのべの裏窓

■今回の地震による大規模な停電を経験し、日頃からの備えの大切さを身に染みて感じました。例えば、懐中電灯はいますが、家のどこに置いていたか思い出せず、結局スマートフォンで代用していました（いざというときの連絡手段であるため、電池を不必要に消耗させたくないところです）。他にも、私は非常用持出袋の類を持っていないので、もしすぐに避難しなければいけない状況だったら、慌てて必要なものを持ち出せなかっただろうなあとも感じました。

■自分の備えの甘さに気付く、いいきっかけになりました。とりあえず、懐中電灯は窓辺に置くことに決め、防災グッズをネットで検索しているこの頃です。

●広報へのご意見、ご要望をお寄せください●
総務財政課総務グループ
電話 5－1111／告知端末機 5－8811

（平成30年8月末日現在）
※（　）内は前月比

男	1,200	（＋3）
女	1,154	（－3）
計	2,354	（±0）
世帯数	1,254	（＋3）

■平成30年10月　■発行／天塩郡幌延町
■企画・編集／総務財政課総務グループ　■印刷／株式会社須田製版
■幌延町ホームページアドレス／http://www.town.horonobe.hokkaido.jp

R100 この広報誌は、資源保護のため再生紙を利用しています。